

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年05月25日

計画の名称	鎌ヶ谷市ふれあい空間づくり												
計画の期間	平成28年度～令和02年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	鎌ヶ谷市												
計画の目標	本市が目指すみどりに包まれた快適なまちを実現し、やすらぎとうるおいのある環境を創造するため、市内の良好なみどりを保全するとともに、みどりの創出並びに緑化の普及及び啓発を図ることを目的とする。 市内の既存公園施設を総合的な機能の保全及び向上を目指し、施設の安全性を確保することを目的とした長寿命化計画をもとに公園施設の改築及び更新を行う。 グリーンインフラ事業として、市内に残る豊かな自然環境が保全された中で、自然のうるおいを身近に感じながら、やすらぎある質の高い市民生活が送れる社会をめざし、自然景観や緑の保全・創造、公園・緑地の充実に努める。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	4,171	A	4,171	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)
1	市民一人当たりの公園面積を2.9㎡/人(H28)から3.8㎡/人(R2)に増加 市民一人当たりの公園面積 鎌ヶ谷市内公園面積/鎌ヶ谷市人口	3㎡/人	㎡/人	4㎡/人
2	R2年度までに、43公園において公園施設長寿命化計画で対象とする遊具等の公園施設を119箇所改築・更新する。 長寿命化計画を基に公園施設の改築及び更新をした公園施設の割合 公園施設改築・更新数/長寿命化計画策定公園施設数	0%	%	20%
3	R6年度までに、公共公益施設の緑化面積を70㎡から250㎡に増加 公共公益施設の緑化面積 中央児童センター内の緑地面積	70㎡	㎡	70㎡

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	鎌ヶ谷市	直接	鎌ヶ谷市	—	—	都市公園等事業(栗野地区公園)	用地買収、整備 8.3ha	鎌ヶ谷市	■	■	■	■	■	698	—	
	A12-002	公園	一般	鎌ヶ谷市	直接	鎌ヶ谷市	—	—	鎌ヶ谷市緑地環境事業	吸収源対策(用地買収 整備 3.3ha 7箇所)	鎌ヶ谷市	■	■	■	■		1,593	—	
	A12-003	公園	一般	鎌ヶ谷市	直接	鎌ヶ谷市	—	—	鎌ヶ谷市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化対策(第三新田公園等43公園における遊具・休養・便益施設の改築更新)	鎌ヶ谷市	■	■	■	■	■	173	—	
	A12-004	公園	一般	鎌ヶ谷市	直接	鎌ヶ谷市	—	—	鎌ヶ谷市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化計画見直し	鎌ヶ谷市					■	8	—	
	A12-005	公園	一般	鎌ヶ谷市	直接	鎌ヶ谷市	—	—	鎌ヶ谷市グリーンインフラ活用型都市構築支援事業	グリーンインフラ活用型都市構築(公園緑地の整備及び取得 5箇所、公共公益施設の緑化 1箇所)	鎌ヶ谷市					■	1,699	—	
											小計						4,171		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計					4,171			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 鎌ヶ谷市公園緑地課にて実施	事後評価の実施時期 令和3年度
公表の方法 市ホームページにて公表	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民一人当たりの公園面積が2.9㎡/人から3.3㎡/人に増加した</li> <li>・粟野地区公園の用地取得</li> <li>・東道野辺ふれあいの森公園の用地取得及び整備工事を完了し、令和元年度に共用開始した</li> <li>・長寿命化計画で策定した公園施設119箇所の内、41箇所の改築又は更新を実施した</li> <li>・（仮称）鎌ヶ谷一丁目ふれあいの森公園の用地取得</li> <li>・（仮称）丸山三丁目ふれあいの森公園の用地取得</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	（空欄）

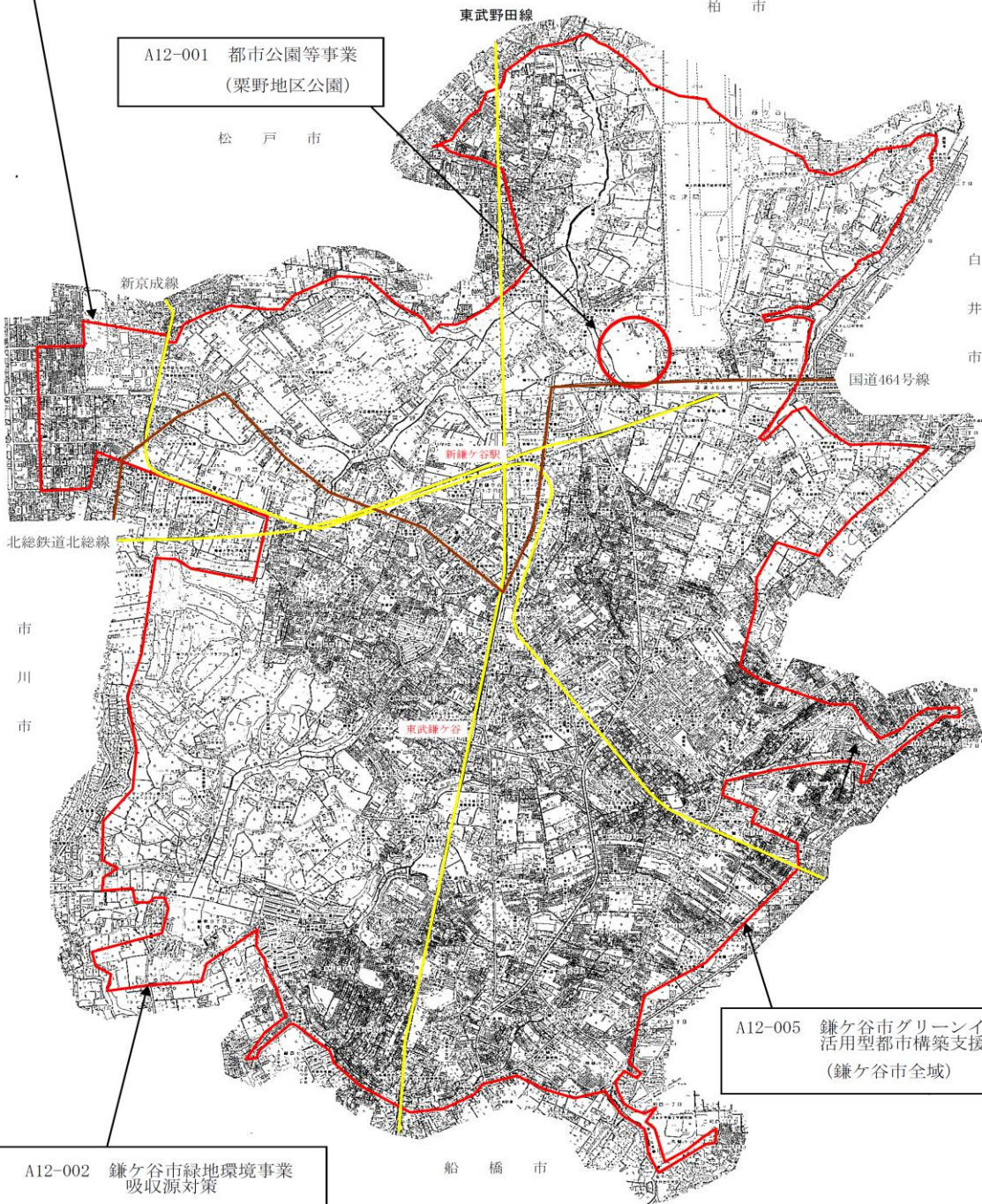
○特記事項（今後の方針等）

次期整備計画（計画期間R3～R7）においても、本市が目指すみどりに包まれた快適なまちを実現するため、良好なみどりを保全するとともに、みどりの創出並びに緑化の普及及び啓発を図る。  
 市内に残る豊かな自然のうるおいを身近に感じながら市民生活が送れる社会を実現するため、グリーンインフラ事業として、自然景観や緑の保全・創造、公園・緑地の充実を図る。  
 市内の既存公園について、施設の安全性確保を目的とした長寿命化計画をもとに公園施設の改築及び更新については、防災・安全交付金「鎌ヶ谷市ふれあい空間づくり（防災・安全）」（計画期間R2～R6）で引き続き取り組んでいく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	4㎡/人	吸収源対策事業において、ふれあいの森以外の用地交渉に時間を要しているため。
	最終実績値	3㎡/人	
鎌ヶ谷市内公園面積を鎌ヶ谷市の人口で割る			
2	最終目標値	20%	改築又は更新した公園施設数を長寿命化計画で策定した公園施設数で割る
	最終実績値	34%	
緑化面積			
3	最終目標値	70㎡	グリーンインフラ都市構築支援事業計画は、R2年度からR6年度までの計画であり、R2年度は実施しない計画のため。
	最終実績値	70㎡	

A12-003, A12-004 鎌ヶ谷市都市公園安全・安心対策事業（鎌ヶ谷市全域）

A12-001 都市公園等事業  
（栗野地区公園）



A12-005 鎌ヶ谷市グリーンインフラ  
活用型都市構築支援事業  
（鎌ヶ谷市全域）

A12-002 鎌ヶ谷市緑地環境事業  
吸収源対策  
（鎌ヶ谷市全域）